

マウスと日本人

日時

6月4日(木) 午後2時30分～4時

入場無料

場所

一橋講堂 (東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線
神保町駅徒歩4分/東京メトロ東西線竹橋駅徒歩4分)

東京都医学総合研究所 研究員 米川博通

鼠坂や利休鼠、我国には「鼠」に関する地名や色が各々100以上も存在する。これらは、江戸時代の「鼠のペット化」の波及とも大きく関係するらしい。鼠に関する江戸中期の珍書「ちんがんそたてくさ珍玩鼠育草」には、鼠の飼い方ばかりでなく、メンデルより78年も早くメンデルの法則に示された「毛変り鼠」の取り方の解説もある。

35年ほど前、基礎医学で使われる実験用マウスの由来に興味をもった私は、遺伝子からその謎を明らかにしてきた。さらに最近、最後に残った「現代の実験用マウスと江戸時代のマウスとの関係」も遺伝学的に遂に明らかにされた。今回は、マウスにまつわるその様な出来事を、実験用マウスが近代医学に果たしてきた役割を交えながらお話しを進めてみたい。

定員 抽選 500名

申込方法 往復はがきにて(1通につき2名様まで)

〒156-8506 東京都世田谷区上北沢 2-1-6 東京都医学総合研究所 事務局 普及広報係宛
住所・氏名(ふりがな)・同伴者氏名・電話番号・「6月4日開催 第2回都民講座希望」とご記入ください。要約筆記ご希望の方は【要約筆記希望】とご記入ください。

※なお、無効となる場合がありますので、記入漏れのないようご注意ください。

申込締切 5月29日(金) 消印有効

問合せ先 事務局 研究推進課 普及広報係 TEL 03-5316-3109 FAX 03-5316-3150

主催 公益財団法人東京都医学総合研究所

